

<ユーザー紹介>

～新垣牧場～

今回は日本の思いっきり南、観光地でも有名な石垣島（八重山諸島）からお伝えいたします！

石垣島は沖縄那覇空港から飛行機で南西へ約1時間（430km）の所にあります。

人口は5万弱で沖縄県では沖縄本島、西表島について3番目に大きな島です。

新垣牧場さんは約30年前、父である武信さんが創始者で現在、繁殖母牛55頭を飼養しています。

後継者である公得さん（右写真）は地元八重山高校を卒業後、茨城県の鯉淵学園に入学、勉学に励んで？おりました。

卒業後、茨城県酪農協に就職2年間勤務し、飲み方の腕を磨いておりました！

飲み方の腕も上がったところで平成5年、地元八重山に帰還。

JA 沖縄 八重山支店に採用され畜産課で“その力”を遺憾なく発揮していました。

モチロン！飲み方だけではなく、畜産指導員としてもその力を発揮。

地元の畜産振興のために畜産青年部をまとめ上げ、部会を立ち上げたという行動派です。

H15年、青年部会の活動も軌道に乗った頃に農協を退職、ご両親が切り盛りしていた農場の経営に参画し地元で開業している玉代勢獣医師の指導を受けながら飼養管理の改善に着手。

H17年からは（有）シェパードの松本獣医師の助言もあって中国物産（広島）が製造する繁殖、育成用飼料の給与を開始。

成績の向上が確認されたので、地元生産者にも提供するための販売窓口を開設しフロン

ティア産業八重山支店長として、地元生産者の牛群の改善に取り組んでいます。

牛群改善、牛舎環境改善のためにはアースジェネターも欠かせないアイテムとして、地元生産者の方々にも推進してくれています。新垣農場ではH17年10月からアースジェネターを繁殖母牛、哺育育成牛群全頭に給与しています。

給与開始6ヶ月経過した頃からは牛舎臭気も減少。また子牛の下痢発症件数及び治療回



<新垣公得さん>



<牛舎全景>

数の減少、粗飼料の食い込み増による DG の改善などが実感され、それに伴い群のバラツキも小さくなってきたようです。

あっ！勘違いしないでくださいねっ！

これは新垣さんが給与飼料の品質改善、給与体系の改善、寄生虫対策なども並行して進めていった結果であって、決してアースジェネターだけの力ではありませんよ！

牛さん達は色々な要因が複雑に絡み合って成育が促進されます。

牛さんのお世話になっている人達は、牛さんの成育を妨げている様々な要因を早く見つけ出し、一つずつ改善して良い結果を導いてあげるのがとても大切な仕事なんですよねっ！

また新垣牧場では、繁殖成績を改善するために（株）コムテックの“牛歩”も導入。現在の母牛群では、年一産を実現しています。

新垣牧場では公得さんが経営改善に取り組んでから今年（H21年）で6年。

現在はセリ市でも上位の成績をあげる常連さんとして名を連ねている一方、八重山地区全体の成績向上を目指して、他生産者への飼養管理の指導にも精力的に取り組んでいます。

最後に、新垣牧場さんの母牛群、子牛ちゃん達の様子も写真でご紹介いたしますねっ！

お母さん達は本当にのんびりしているし、子牛ちゃん達は健康そのもの…って感じ！

新垣さん！これからも更に良い牛さん創り、そしてより多くの地元生産者の育成を目指して頑張ってくださいねっ！

私達も陰ながら応援していますよ～っ！

（佐藤隆司）



<牛舎内母牛群>



<運動場でくつろぐ母牛達>



<毛艶ピカピカ、食欲旺盛な子牛たち>